

第6次武豊町総合計画 基本構想(案)について

提出者	ページ	原案	ご意見・ご提案の内容	事務局の回答	今後の対応	修正の有無
1 岩瀬 計介 委員	基本構想 前回資料(14P) 今回資料(19P)	4 町の主要課題 (4)地域住民の連携と人材育成(地域福祉、地域防災、地域自治のパワーアップ) ④また、南海トラフ地震をはじめとした自然災害の発生に備え、自主防災活動などの取組をさらに充実させていくことが必要です。	「社会潮流の変化」には、自然災害が頻発している現状を全国的な課題としてとらえられている。「町の主要課題」のところで、自然災害についてもう少しクローズアップしてとらえるべきではないか。	ご意見を踏まえ、加筆・修正します。	4 町の主要課題(4)④を削除して町の主要課題に新たに「(6)魅力ある暮らしを支える安全なまちづくり」を追加し、自然災害への備えについて加筆しました。	有
2 岩瀬 計介 委員	基本構想 地区別構想 前回資料(記載なし)	—	地区別懇談会の結果をみると、それぞれの地域性がみとれる。地域別分析を取り入れてほしい。	総合計画策定に向け住民の意見を伺った地区別懇談会などから地域特性については把握しており、計画策定の参考にしています。また、並行して策定を進めている都市計画マスタープランでは地域別に都市基盤の計画をたて対応をする計画となっています。	地域特性を把握して計画策定の参考にしています。	無
3 高木 正博 委員	基本構想 前回資料(19P) 今回資料(26P)	2 まちづくりの目標 (5)誰もが元気で楽しい生活ができるまち (…略)男女、年齢、国籍を超えた交流を通じてお互いに理解し合うことができるまちをめざします。	序論「3-1 社会潮流の変化」では、多様性を認めあう社会づくりの文章中に「性別」という言葉を使っているが、「まちづくりの目標」の(5)の項では「男女」という言葉を用いている。「性別」に改めた方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、修正します。	「男女」は「性別」に改めます。	有

第6次武豊町総合計画(案)について

No	提出者	ページ	原案	ご意見・ご提案の内容	事務局の回答	今後の対応	修正の有無
1	靱山淳一委員	基本構想 前回資料(17P) 今回資料(24P)	2 まちづくりの目標 (1)定住先として選択されるまち 豊かな自然環境と交通の利便性を活かし、良好で潤いのある環境の中で利便性、快適性を感じながら暮らしを営むまちをつくり出す。	豊かな自然環境と交通の利便性を活かし、良好で潤いのある環境の中で利便性、快適性を感じながら安全で安心に暮らせるまちをつくり出す。 (下線の様に改めてはどうか)	「安全に暮らせるまちづくり」について強調する方向で、加筆・修正します。	4 町の主要課題(4)④を削除して町の主要課題に新たに『(6)魅力ある暮らしを支える安全なまちづくり』を追加し、自然災害への備えについて加筆しました。	有
2	靱山淳一委員	基本構想 前回資料(17P) 今回資料(24P)	2 まちづくりの目標 (1)定住先として選択されるまち ①良質な住宅地の整備及び良好な住環境の保全を図り、快適な生活ができる住宅地を形成します。	①良質な住宅地の整備及び良好な住環境の保全を図り、快適な生活ができる住宅地を形成します。 (下線の様に改めてはどうか)			
3	靱山淳一委員	基本構想 前回資料(17P) 今回資料(24P)	1 まちの将来像 【スマイルタウン】 私たちがめざすまちは、みんなの笑顔の絶えない『しあわせのまち』です。その目標像を「スマイルタウン」という言葉で表現しました。	2 まちづくりの目標に掲げる「(1)定住先として選択されるまち」は具現化がむづかしい目標に感じる。 将来像に「スマイルタウン」と目標とする町の姿が示されており、その部分に「みんなから定住先として選択される」というような表現を入れたいかがでしょうか。 (下線の様に改めてはどうか)	「(1)定住先として選択されるまち」は、今後の人口減少社会の進展からくる財政力の低下等の諸問題に対応するため、まちづくりの目標の第一に掲げています。「定住先として選択されるまち」を総合計画の目標に掲げ、更に個別計画で施策を掲げて具現化を図ってまいります。	原案のままとします。	無
4	藤野由香梨委員	基本構想 前回資料(18P) 今回資料(25P)	2 まちづくりの目標 (2)安心して子どもを産み育てることができるまち 子育て世帯に対する様々な充実した支援のもとで(略…)	子どもたちがいのちの大切さを学ぶ機会を… (下線の表現を追記してはどうか)	基本計画に明記します。  基本計画3-1学校教育 施策方針(3)健全な心と体の育成 ①「いのちの教育」や防災ボランティア活動を通し、いのちの大切さを学習します。	基本計画3-1学校教育で対応します。	無
5	出口智康委員	基本構想 ゾーニング 前回資料(25・27P) 今回資料(33・35P)	3-2 ゾーン別土地利用の方針 (1)住居ゾーン 土地区画整理事業や地区計画の活用などを進め、良質な居住環境の創出及び維持・保全を図るとともに、防災機能の向上や居住環境の改善を進め、各地区の特性に応じて、快適で安心して住み続けられる住宅地としての土地利用を進めます。	住居ゾーンが設定されている里中地区は味噌蔵の集まる伝統産業の地区である。単なる住居ゾーンでなく特殊な地区と定めて特色を生かした利用を考えてはどうか。	町民意識調査では、町の魅力、自慢できることとして、味噌・たまりの地場産業は、大きなウエイトを置いていることから、基本計画1-1や都市計画マスタープランの中でその利活用について明記してまいります。	基本計画1-1市街地・住環境、都市計画マスタープランで対応します。	無

第1回総合計画審議会 意見・提案一覧【審議会後にいただいたご意見】

第6次武豊町総合計画(案)について

No	提出者	ページ	原案	ご意見・ご提案の内容	事務局の回答	今後の対応	修正の有無
6	藤野由香梨委員	基本計画 1-1 市街地・住環境	基本計画 1-1 市街地・住環境 施策方針(3)集い憩える場づくり ③文化施設、体育施設、観光施設などの既存施設をつなぐ散策路の整備や施設間での関連イベントの開催など、町民が集い憩える機会を充実します。	③名鉄武豊駅・JR武豊駅と文化施設、体育施設、観光施設などの既存施設をつなぐ堀川沿いを緑豊かな散策路として整備します。 施設間での関連イベントの開催など、町民が集い憩える機会を充実するとともに、普段の生活で気軽に立ち寄れるみんなの居場所とします。 (下線のように改めてはどうか)	堀川沿線は商業施設の出入り口との交差や通行できない区間があるなど課題があります。 鉄道駅から交流拠点(町民会館・体育館、地域交流センター・図書館周辺)への徒歩アクセスも含め、既存のストック(道路や花壇など)の有効利用や通行の安全性などの観点から散策路の設定、整備を検討したいと考えます。  修正案 基本計画 1-1 市街地・住環境 (3)③ 鉄道駅と交流拠点をつなぐ散策路の整備や、関連イベントなど、町民が集い憩える機会を充実するとともに、普段の生活で気軽に立ち寄れるみんなの居場所づくりを進めます。	基本計画1-1市街地・住環境で対応します。	有
7	藤野由香梨委員	基本計画 5-1 防災	基本計画 5-1 防災 施策方針(2)防災意識の啓発及び向上 ③小中学校における防災福祉教育の充実を図ります。	③保育園・こども園、小中学校における防災福祉教育の充実を図ります。 (下線部分を追記してはどうか)	保育園・こども園についても実施の検討を進めることとし、ご意見のとおり追記します。	ご意見を踏まえ追記します。	有